

区民会議の提案

提案Ⅰー① 体験型防災プログラムの実施推進

▶参加のきっかけづくり、防災意識の啓発、避難所開設・運営訓練の充実・強化

■内容…多様な体験（車椅子、消火、避難、トイレ、非常食、宿泊、多言語など）

■演出…スタンプラリー形式、ゲーム形式、クイズ形式、ワークショップ形式など

提案Ⅰー② 避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進

▶避難所開設・運営の担い手育成、「互近助」関係づくりの推進

■災害発生時の避難所運営、施設利用等を模擬体験するゲームの体験推進

・自主防災組織や町内会自治会単位や、子ども向けにアレンジして実施、運営の担い手育成など

提案Ⅱ 中原総合防災マップづくり

▶防災意識の啓発、災害前の備え・対策の推進、防災情報の伝達・共有

■地域の情報・既存資料の一括化、わかりやすく使いやすい

■わかりやすく、使いやすい…書き込み可能、イラスト、やさしい日本語、索引など

提案Ⅲ 防災情報の発信

▶防災意識の啓発、防災情報の伝達・共有

■啓発短編動画の製作・配信…在宅避難生活、地域防災訓練などの情報を区役所窓口や駅前広場のモニターでの放映、商店街への掲出などで発信

提案Ⅳ 区民（市民）救命士の育成

▶避難所開設・運営の担い手育成、「互近所」関係づくりの推進

■「市民救命士」の区内での育成・普及の強化

提案Ⅴ 震災体験の講話・講演

▶防災意識の啓発、災害前の備え・対策の推進

■震災経験者による講演・講話の機会の推進

提案Ⅵ 安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用

▶避難所運営機能の強化

■「無事ですカード」の製作・活用…速やかな安否確認

■避難所運営に資する資料の導入・多言語化…避難所掲示・避難者登録カードなど

提案Ⅶ 街中案内・マップの充実

▶サイン整備によるわかりやすい案内・避難・救出しやすい環境づくり

■街中案内地図の更新・改善…情報追加・整理、QRコード活用等による詳細情報への誘導

実現に向けた取組

中原区総合防災訓練を視察し、更なる改善・充実に向けた意見・提案を行いました。

平成29年9月の大戸小学校、平成30年2月の上丸子小学校、計2回の「中原区総合防災訓練」を視察し、実際の体験を通して、訓練に対する意見・提案等を行いました。

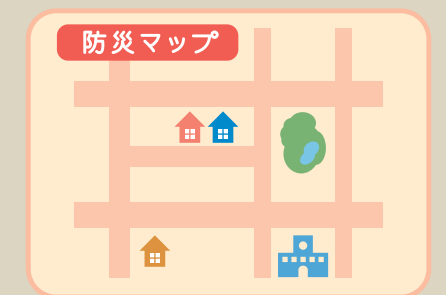
より多くの区民に参加してもらうための広報、地震以外の災害を想定した訓練内容の充実などの意見・提案が出され、次回以降の訓練に反映されました。



中原区総合防災マップの進捗状況の確認、区民会議提案反映の働きかけ、コラム欄の提案と検討などを行いました。

中原区役所が作成を進めている「中原区総合防災マップ」について、前年度までの区民会議における検討結果も含め、区民会議の提案内容がマップに反映されるよう協議を進めました。

また、広告欄等の空きスペースを活用した防災に関するコラムやクイズ等の提案を行い、区民に役立つ掲載内容についても、検討を進めました。



体験型防災プログラムの企画・運営を川崎フロンターレ親子サッカードリーム教室の会場で実施しました。

平成29年10月に開催された「川崎フロンターレ親子サッカードリーム教室」の会場（等々力陸上競技場）において、区民会議の提案する「体験型防災プログラム」を諸団体の協力を得ながら実施しました。

非常食、多言語コミュニケーション、車いす、ロープ結び、簡易トイレなどの体験ブースの他、防災に関する知識を各ブースで出題したクイズラリーも実施し、多くの親子に楽しみながら防災に接し、考えてもらうことができました。

